

令和4年度 神奈川県立高津養護学校 不祥事ゼロプログラムの検証

○ 項目・目標別実施結果

番号	取組課題	目標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上 (公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	教職員一人ひとりが、教育公務員として神奈川県職員行動指針を厳守する。	4月の職員会議で「神奈川県職員行動指針」の内容を確認し、教育公務員としての基本を確認した。また、毎月の職員会議を活用し、通知等を基にした研修を実施し、教職員一人ひとりの法令遵守意識を高めた。職員研修会で作った不祥事防止標語を職員室の貼り、校内掲示板にも掲載し、職員の意識の向上に努めた。
2	職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	教職員一人ひとりが、ハラスメントについて理解し、良好な職場環境を作る。	研修資料を活用し、ハラスメントについて学び、全教職員の意識を高めることができた。また、総括教諭を中心に学部内の人間関係に気を配り、風通し良く円滑な人間関係を築き、良好な職場環境を作ることができた。
3	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童生徒の人権を尊重した関わりを行い、教職員一人ひとりが当事者意識を持って取り組み、わいせつ、セクハラ行為を行う職員はゼロとする。	総括教諭を中心に児童生徒情報を収集し、企画会議等で全校で共有する仕組みを機能させることで、人権意識をもって、全校で児童生徒の支援に関わる意識を高めることができた。わいせつ事案の根絶についての取組みを徹底した。人権意識の向上に向けて、CAPかながわを講師とした人権研修会でグループ討議を行い、日頃の指導を考える機会とした。
4	体罰、不適切な指導の防止	子どもの気持ちによりそった指導を実行し、体罰、不適切指導はゼロとする。	「さん付けキャンペーン」「あれっと思ったら周りに相談しよう」等とおして、児童生徒の人権に配慮した関わりを常に意識した指導を行うことを随時確認し、教職員の意識向上を図った。気になる指導については、管理職面談を行い、注意喚起を促した。
5	入学者選抜、成績処理(個別教育計画)及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	児童・生徒関係資料の適切な処理を行う。	ヒヤリハット事例共有の必要性や啓発・点検資料を通じた研修を実施するとともに、ファイル基準表も随時確認し、書類の保存、廃棄等を適切に実施することができた。
6	個人情報等の管理(メールアドレス等の取得・管理)、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報等の適正管理を徹底する。	情報セキュリティについては、常に最新の情報を収集し、全校で周知、チェック体制を整え、徹底することができた。個人情報を含んだ印刷物の取り忘れがないよう注意喚起を行い、日常的な管理職によるチェックを実施した。
7	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守を徹底する。	職員会議や朝の打合せでの注意喚起を徹底し、交通法規の遵守を図った。また、点検資料などを活用し、教職員一人一人が自分事としてとらえられるように、意識の向上を図った。
8	会計事務等の適正執行	私費会計システムのよりよい改善と徹底を図る。	私費会計処理のマニュアルについては、検証を行いながら、事故防止の観点から改定を行い、改善に努めた。
9	不祥事根絶全般	教職員一人ひとりが、日々不祥事ゼロの意識を持った行動をするとともに同僚性を高める。	管理職との面談時に、不祥事防止に関わることを全教職員と話し、意識の向上を図った。朝の打合せ時に適宜注意喚起、意識付けを行い、学部、学年の中で、互いに注意しあえる職場づくりを行った。風通しの良い職場環境をつくるため、職員レクを実施して、同僚性を高めた。ヒヤリハット・アクシデントが生じたときは、再発防止策を検討し、朝の打合せ時に報告し共通理解を行い、当事者意識を醸成した。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題

令和4年度不祥事ゼロプログラムについては、定例の職員会議を中心に研修会を実施し、毎月一人ひとりが内容をチェックすることにより、不祥事を自分事として意識できるように努めた。また、ヒヤリハット・アクシデント報告については、素早く朝の打合せなどで全校で共有することを心がけ、各自が自分事としてとらえ、何に気を付けるべきかを共有できるように取り組んだ。

総括教諭企画の職場での課題をとりあげた月ごとのキャンペーン等を通じて、人権意識の向上ならびに体罰不適切な指導の防止につなげ、教職員の不祥事防止に関する意識の向上を図ることができた。不祥事防止会議においては、緊急時の対応マニュアルの改訂を行い、不祥事の未然防止について検討した。

令和5年度は、効果的な不祥事未然防止についての研修等を企画・立案していきたい。特に体罰、不適切な指導の防止、わいせつ事案の根絶、個人情報の適切な取扱いについて、さらなる意識の向上と未然防止に努めたい。